



ガツと一発タイキロー、ハルクを粉砕!

タイトル保持者を次々撃沈、女流はゆこりんがダイゴを破る

やわらかな木漏れ日が降りそそぎ、春を思わせる紀元節。トリノ五輪が開幕した2月11日(祝)、東京の片すみ板橋区平和公園では「第六期ベー王戦」が開催された。

名人戦はスタートしたばかりだが、すでに波乱が起きている。昨年トップ2のMr.高橋とハルクが下位に低迷したままもがいている。先月トップだった松ちゃんは2位に落ち、代わってトップに立ったのはイッサ望月だ。昨年も前半戦調子の良かったイッサ、どこまで好調を維持できるか見ものだ。そしてマイちゃんが女流と子どもの2部門でトップをキープ、総合でも4位につけている。こちら楽しみだ。

第六期を迎えたベー王戦、おとな25名子ども17名の精鋭が顔をそろえた。1次予選勝点10の北馬中邨、2次予選は0点で無念の敗退。同じく1次予選勝点8の釣人今村も、2次予選勝点1では予選落ちだ。その予選を勝ち抜いたのは豆トラ、ダイゴ、ユリー、キイチ、タイキロー、篠ケン、ツッチー、マイちゃんの子ども8名と、ホッシー、Mr.高橋、ハルク、松ちゃん、トシ田口、コバちゃん、ゆこりん、ヒラケンのおとな8名だ。女流の部は伊佐家が独占、伊佐P一人が蚊帳の外だ。その中から昨年子どもの部優勝のダイゴを破ったゆこりんが女流の部優勝を決める。子どもの部トップ通過の豆トラ、ヒラケンの床はずしでベスト8、いつの間にこんなに強くなっていたのか。しかしMr.高橋にリキ負けしベスト8まで。そのMr.高橋も松ちゃん、コバちゃんを連覇したタイキローにハジキ飛ばされベスト4で敗退。タイキローは初の決勝戦進出を果たし、まずは子どもの部優勝を決める。一方、先月グラチャンを制したホッシー、トシ田口との8番勝負を何とか切り抜け連続優勝をねらったが、篠ケン、ゆこりんを退けた剛腕ハルクに飛ばされこ



ゆこりん、タイキロー おめでとう!



シリーズ 田口コレクション その26



昭和29年『少年画報』に連載開始された「赤胴鈴之助」。

ラジオ番組で始まりましたが、その後、実写版をテレビでやったの知ってる?

らもベスト4止まり。勝ったハルクは昨年のグラチャン以来の決勝戦進出だ。しかも相手は子どもと来た。ハルク1年ぶりのタイトルが脳裏をかすめる。しかし、タイキローが強烈な一発をお見舞いし、ハルクの出ばなをくじく。ヤバイ! 後のないハルク、ストレート負けはゴメンだ。気合を入れ直し、剛腕を一振り、すると見事に決まり1対1。緊張をほぐそうと口で息をするタイキロー、しかし目は輝き、初の決勝戦をむしろ楽しんでいるかのようだ。チッチのチッ、無心の小学3年生は怖いもの知らずだ。パチーン、きれいにハルクベーを飛ばす。どっと沸く観衆、拍手と歓声の嵐だ。おめでとうタイキロー、第六期ベー王の誕生だ。